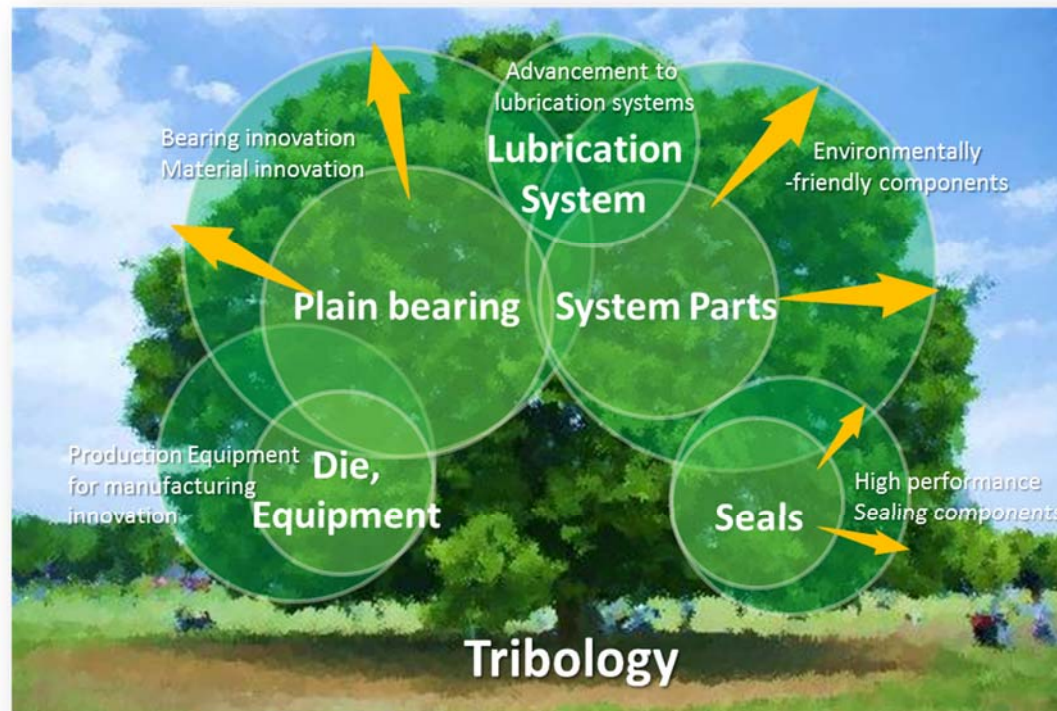


2018年3月期 第2四半期 決算説明会

2017年11月27日



将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている当社業績見通しは、現時点で把握している情報に基づき、当社が判断したものです。実際の業績は、今後の経済動向、市場の需要、為替レートの変動、税制や諸制度など、様々なリスクや不確定要素に左右されます。従いまして、実際の当社業績は見通しと異なる結果になる場合があることを、あらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。

当プレゼンテーション資料に掲載された情報に全面的に依拠して投資判断を下されることはお控えくださいますようお願いいたします。









1. 2018年3月期 第2四半期実績

および通期業績予測

2. 上半期の主な取組み

2018年3月期 第2四半期 決算の概況 <連結>

(単位:億円 以下切り捨て)

	第2四半期 前年同期実績比				第2四半期 当初公表値比			これまでの 第2四半期 最高業績
	'18/3期 実績	'17/3期 実績	増減	増減率	'18/3期 当初公表値	増減	増減率	
売上高	571	539	 32	6.0%	543	 28	5.1%	539 ('17/3期)
営業利益	36	33	 3	9.5%	30	 6	20.0%	33 ('17/3期)
経常利益	37	30	 6	22.7%	30	 7	23.3%	30 ('17/3期)
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	26	21	 5	26.4%	19	 7	41.7%	21 ('17/3期)
為替レート	111円/\$ 126円/€	105円/\$ 118円/€	—	—	105円/\$ 115円/€	—	—	

前年同期比、公表値比 とともに増収増益

☆前年同期比

【売上高】 571億円 (+32億円、6.0%増)

<増収要因>

■すべり軸受製品の拡大

中国市場の回復、海外市販の回復、コンプ用軸受の受注増等

■トヨタ向け設備・金型 受注増

■タイのバキュームポンプ、ガスケット堅調

【営業利益】 36億円 (+3億円、9.5%増)

<増益要因>

■売上増による利益増

■合理化努力

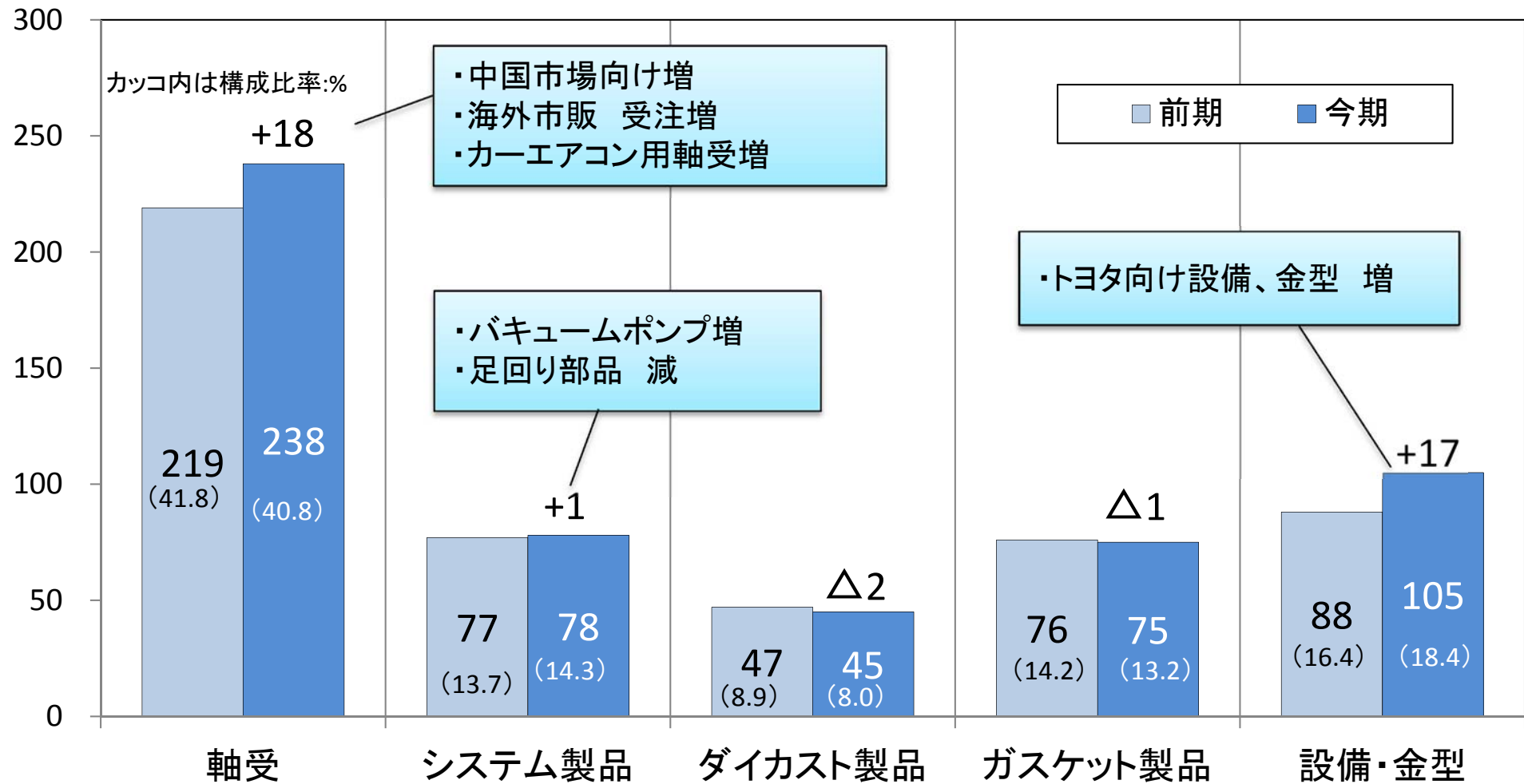
<減益要因>

■原材料価格の高騰

■販価改定

2018年3月期 第2四半期 製品別売上高 <連結>

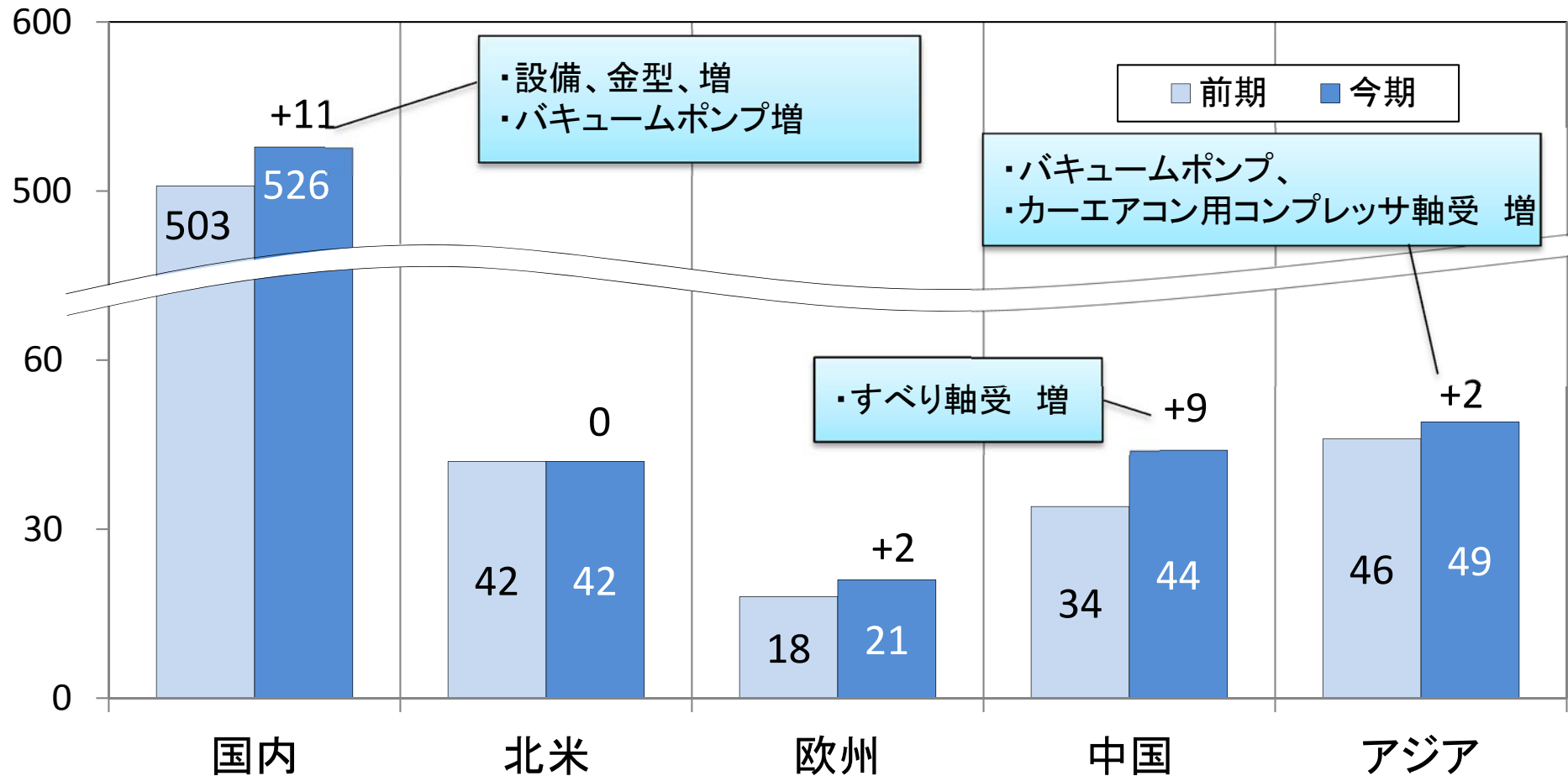
(億円)



軸受、自動車用設備・金型の受注増により売上増

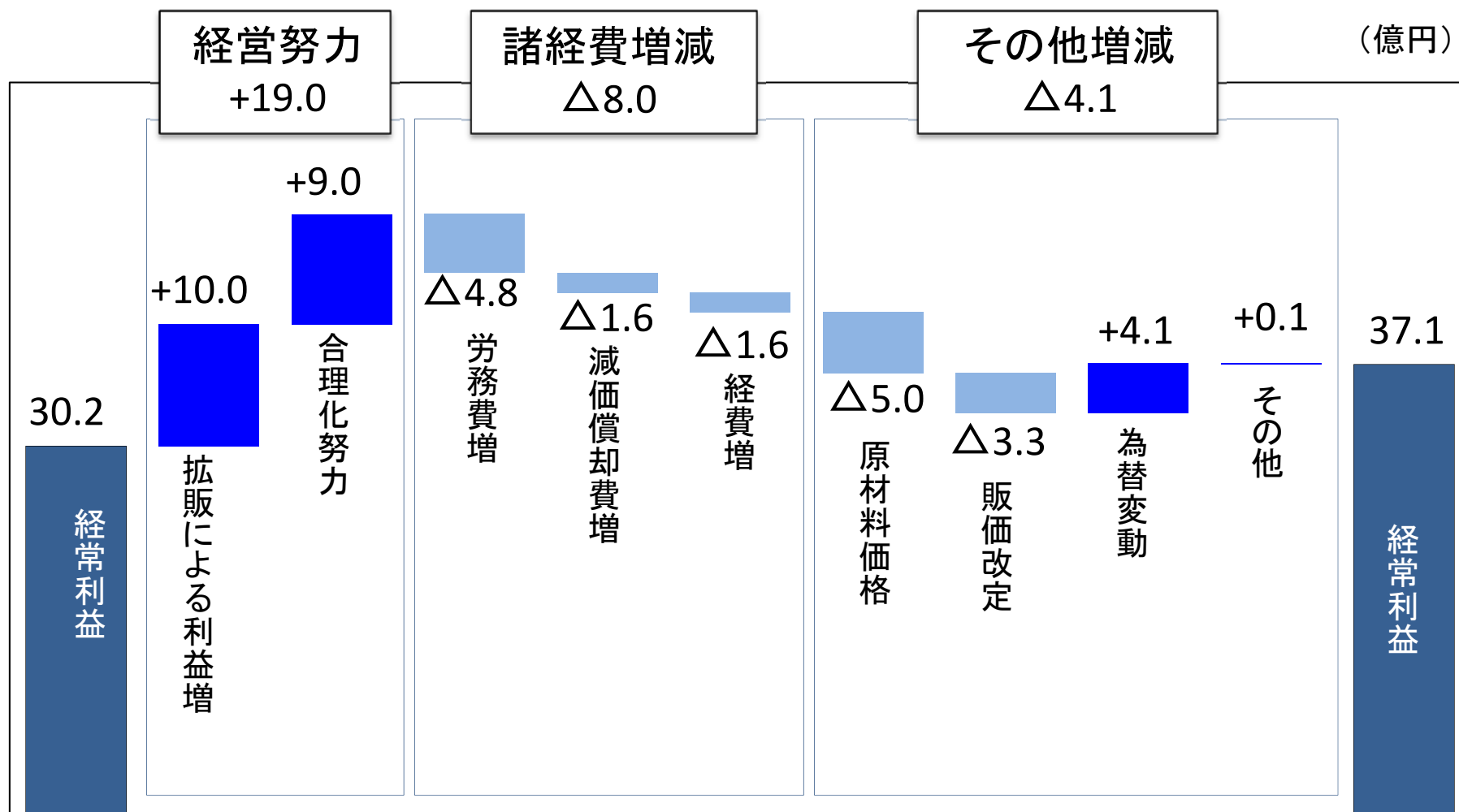
2018年3月期 第2四半期地域別売上高 <連結消去前>

(億円)



中国・アジア市場が好調、すべり軸受を中心に受注増

経常利益増減要因(前期比) <連結>



'17/3期2Q → **6.8億円増益** → '18/3期2Q

ビジネス拡大による諸経費の増、原材料価格の高騰分を、拡販および合理化努力により6.8億円増益

2018年3月期 通期業績予測 <連結>

(単位:億円 以下切り捨て)

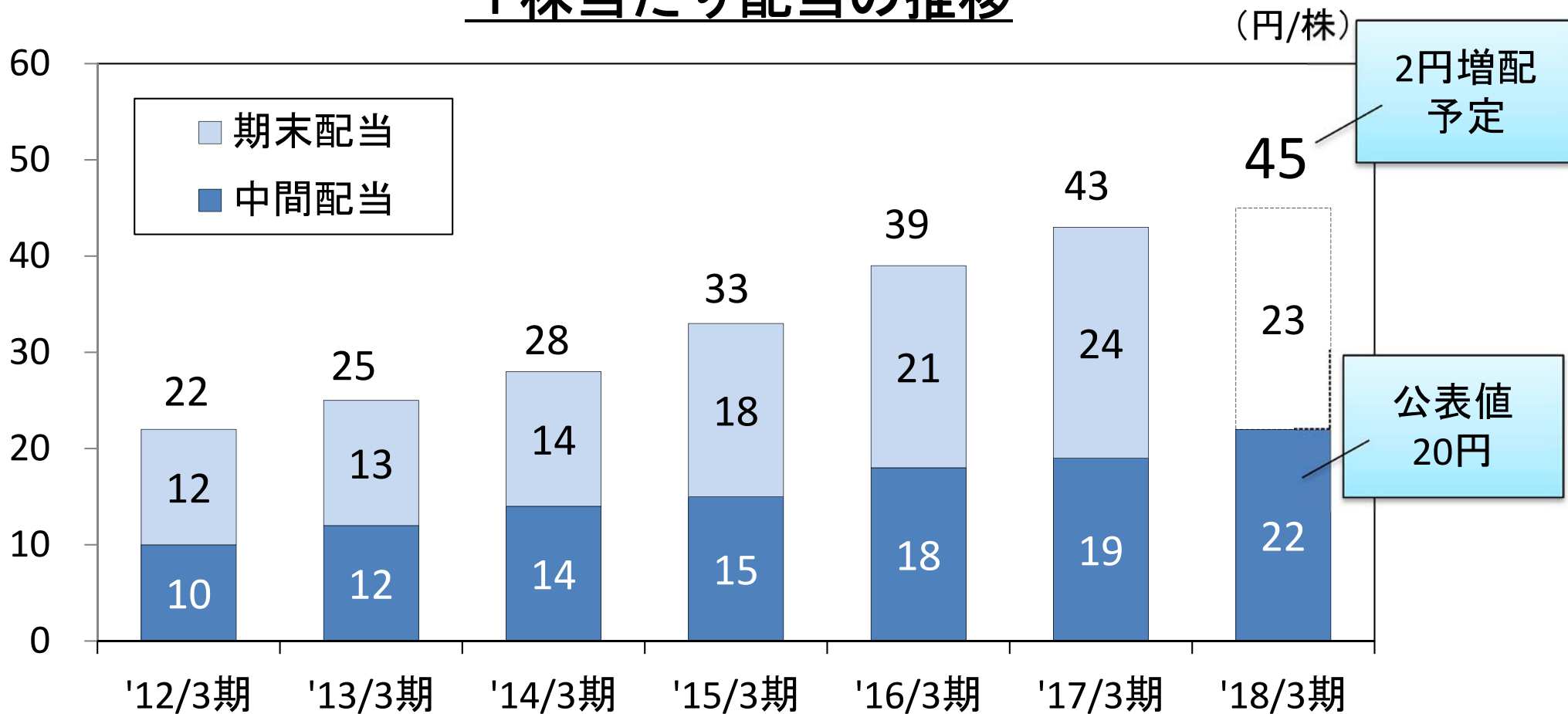
	通期予想 前年同期比			
	'18/3期 通期予測	'17/3期 実績	増減	増減率
売上高	1,100	1,089	10	1.0%
営業利益	61	63	△2	△4.0%
経常利益	60	62	△2	△4.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	40	44	△4	△10.2%
為替レート※	105円/\$ 115円/€	108円/\$ 119円/€	—	—

下半期の経営環境が不透明のため公表値は修正しない。

円安の継続、中国・アジア市場が好調であれば下期業績も期待できる。

株主還元

1 株当たり配当の推移



中間配当を期初公表値20円/株より2円/株増配。
期末配当23円/株とし、年間予想配当金45円/株を予定。

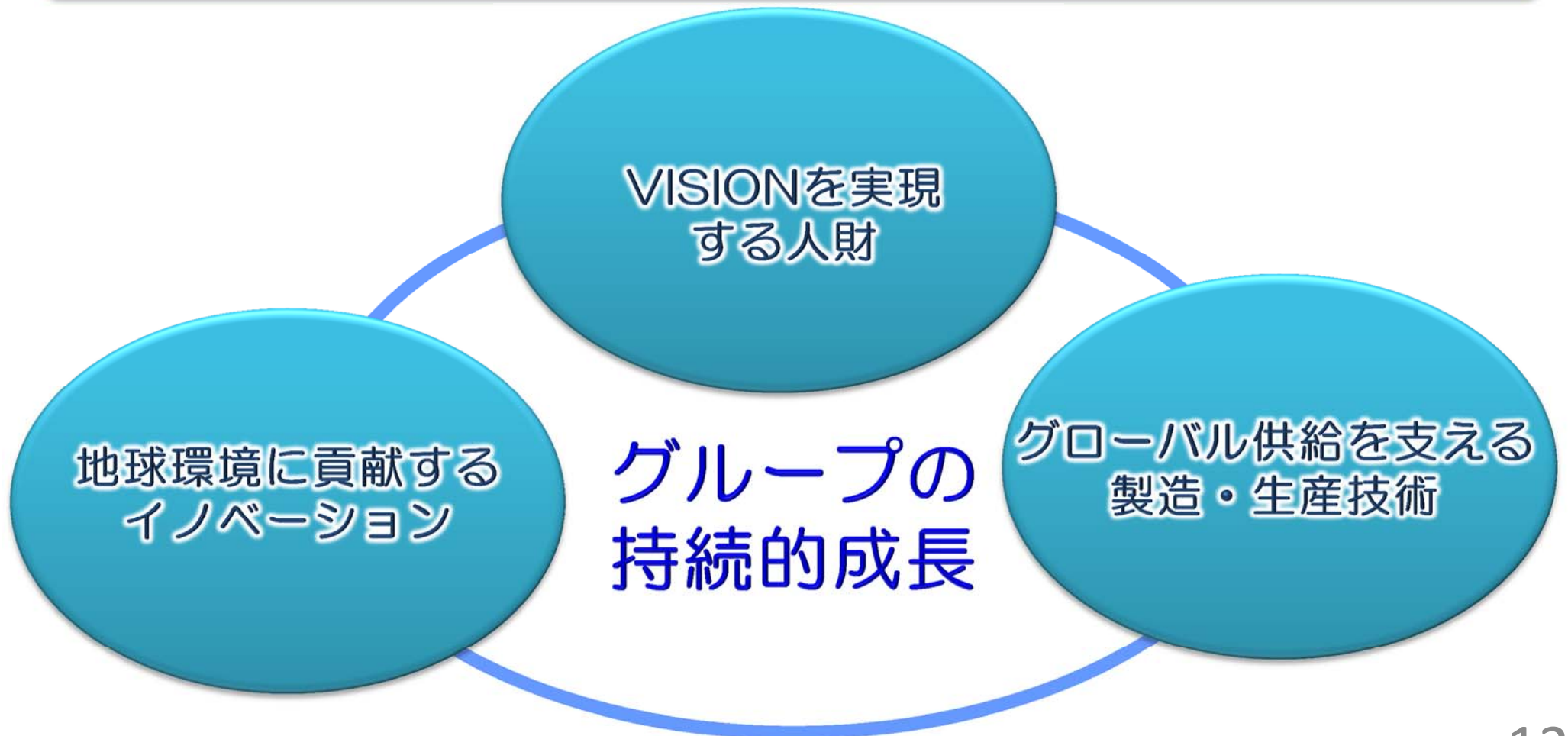
1. 2018年3月期 第2四半期実績
および通期業績予測

2. 上半期の主な取組み

大豊グループの『VISION2020』

VISION2020 ～地球環境とお客様への貢献～

トライボロジーをコアに、軸受をはじめとした環境に貢献する製品を迅速に生み出し、グローバルにお客様へお届けする



『VISION2020』の取組み

VISION2020 ～地球環境とお客様への貢献～



グローバル生産拡大の取組み

- お客様の現地調達ニーズに応え、良品廉価な製品を提供する

グローバル生産拡大の取組み

すべり軸受 製品

高級車市場

- ・さらなる高出力化
- ・過給によるエンジンの小型化、4気筒化
⇒高性能すべり軸受素材の開発力強化

大衆車市場

- ・新興国市場の拡大(60%以上が新興国)
- ・現地調達化の促進
⇒低コストすべり軸受の競争力強化



- ・高面圧、高出力対応の材料開発を強化
素材実証ライン稼働（大豊岐阜）
- ・グローバル生産体制の強化（北米、中国、アセアン）
良品廉価（RR）ライン、加工ライン増強
樹脂コーティングラインの現調化等

グローバル生産拡大の取組み

システム製品

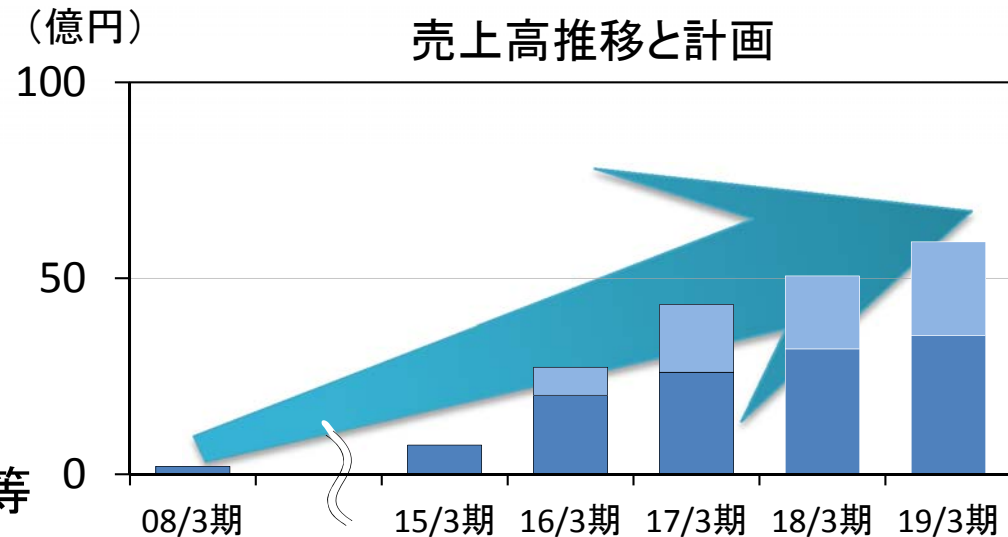
エンジンの更なる低燃費化・高効率化

吸気損失を低減させ、燃費向上を図った
ガソリンエンジンが増加。バキュームポンプの需要増。



バキュームポンプの採用実績

- ・2007年～
連続バルブリフト可変機構
ヴォクシー、ノア、ウィッシュ等
- ・2015年～
過給ダウンサイジング
レクサスNX、クラウン、C-HR等
新型ディーゼルエンジン※
ハイラックス、プラド等



※ディーゼルは機構上バキュームポンプが必要

2017年、TNGAエンジンにもバキューム
ポンプ採用。日本、北米で生産ライン稼働

グローバル生産拡大の取組み

■ 国内体制強化

- ・大豊岐阜(株)第3工場 竣工
- ・素材実証ライン 火入れ式

■ 米国体制強化

- ・バキュームポンプ生産開始
- ・樹脂コーティングライン増設
- ・エンジン用すべり軸受加工ライン増設

■ 中国体制強化

- ・軸受一貫生産体制をスタート
- ・エンジン用すべり軸受加工ライン増設
- ・樹脂コーティングライン増設

国内での生産体制強化



大豊岐阜(株)第3工場竣工(2017年5月)

- ・将来に向けた部品生産のスペース確保
- ・すべり軸受の新材料開発拠点



大豊岐阜(株) 実証ライン火入れ式 (2017年10月31日)

- ・軸受材料開発のスピードアップ
- ・量産材の課題解決のスピードアップ

グローバル生産拡大の取組み

中国(TCY)での生産体制強化

エンジン用すべり軸受 加工ライン増強



民族系、欧米系の受注増。
好調な中国市場に対応するため、
加工ラインを増設。

樹脂コーティングライン 増強



日系メーカーの小型、高性能
エンジン向けすべり軸受の
樹脂コーティングラインを増設。

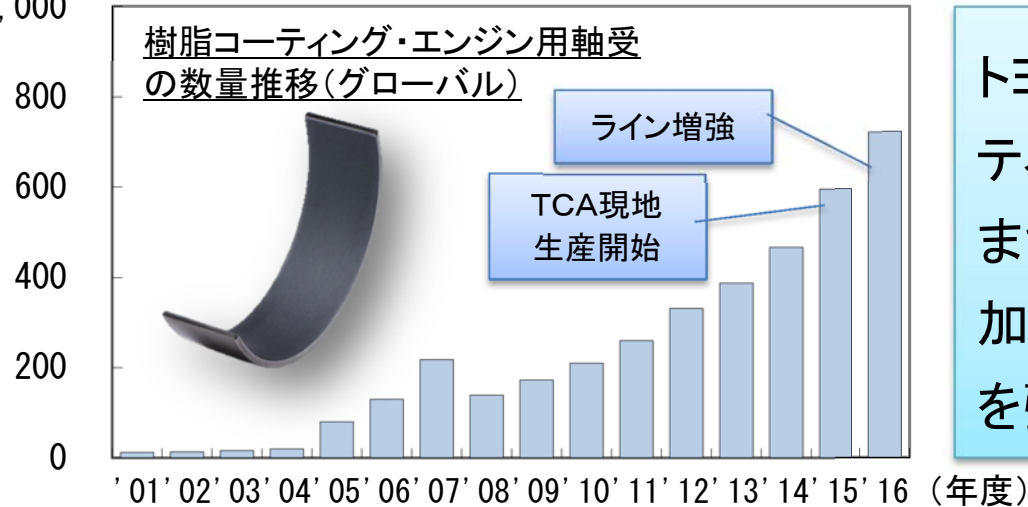
グローバル生産拡大の取組み

北米(TCA)での生産体制強化

エンジン用すべり軸受 生産体制を增強

(万個/月)

1,000



トヨタ、ホンダ、GMに向け樹脂コーティングラインを增強。
また客先ニーズに対応していくため、加工ライン数も增強し、総生産能力を強化。

バキュームポンプ生産開始



トヨタTNGA2.5Lエンジン用
バキュームポンプを生産開始。
海外ではタイに続いて生産拠点
として2番目。

『VISION2020』の取組み

VISION2020 ～地球環境とお客様への貢献～



自動車市場の動向に対応した製品開発の取組み

■高効率エンジン開発への貢献

- ・摩擦損失低減
- ・ポンピングロス低減 他

■排出ガス低減への貢献

- 小型・軽量化への貢献
- 振動対策の貢献 他

お客様からの評価

プロジェクト表彰受賞（トヨタ自動車）

新型カムリ 技術の部（7月）



- ・TNGAコンセプトのバキュームポンプが受賞
- ・TWB素材突合せシステム（大豊精機）が受賞

レクサス LS500h/LS500 技術の部（10月）



- ・レクサスLSの新V6過給エンジンに採用されたコンプレッサハウジングが受賞

『VISION2020』の取組み

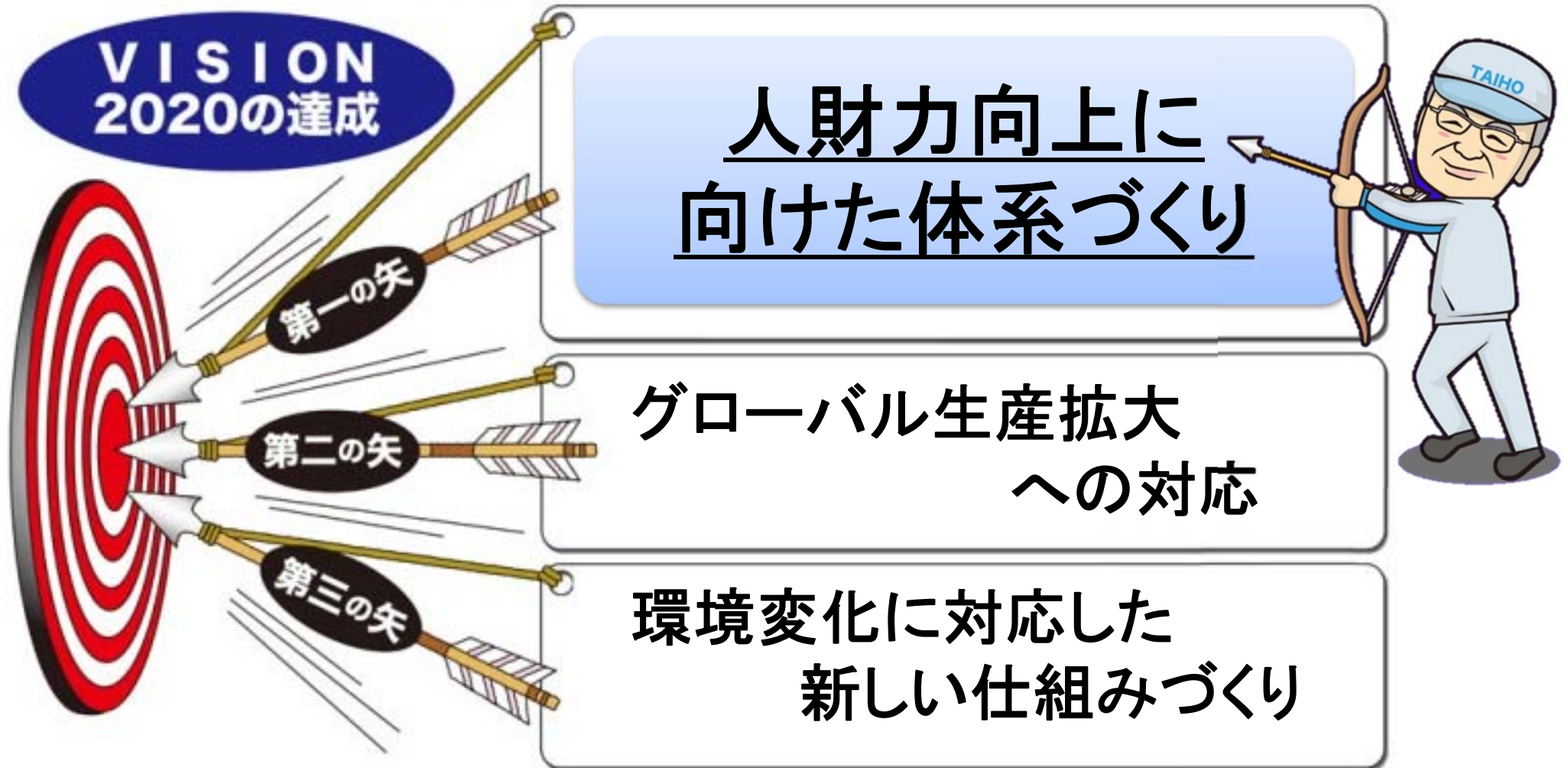
VISION2020 ～地球環境とお客様への貢献～



人財力向上の取組み

- 企業活動を支える従業員の能力向上、働き方改革
- 大豊グループが持続的成長をしていくための基盤強化

『燃える職場・社員総活躍プロジェクト』 ～教え、教えられる風土の醸成～



人財力向上に向けた体系づくり

現場を支える人財力向上

■元気工場プロジェクト

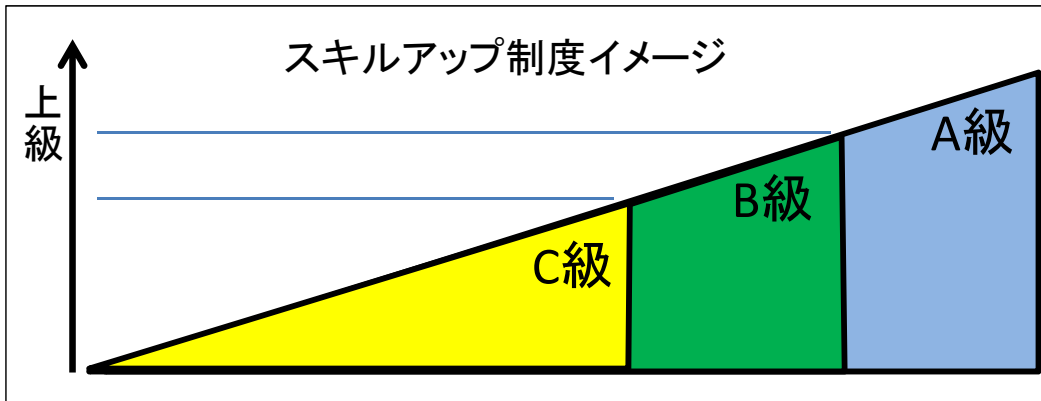
- ・スキルアップ制度（魅力ある技能系職場づくり）



キックオフ(3月)



現地点検会



- ・C級教育を3月からスタート
B級、A級も開始予定
- 継続的な技能伝承、教え・教えられる風土の醸成

事技員の人財力向上

■問題解決能力の強化

- ・管理能力向上プログラム



- ・生産性向上活動
- ・階層別教育(社内講師による教育)

一体感の醸成に向けた活動



大豊グループ駅伝大会(11月)



中期経営方針 2016-2018年度

ゆるぎない 「信頼と技術」で グローバルに躍進

- 技術・品質・原価の徹底追求により、世界トップの競争力を持つ企業となる。
- 人財・組織づくりとリソースの最大活用により、グローバル基盤を更に強化する。

TAIHO

ご清聴ありがとうございました。